

令和6年度（ア）	令和5年度（イ）	（ア）－（イ）
63,745千円	71,981千円	-8,236千円

6. 指定管理者が行う管理運営業務の内容

指定事業（業務）： 1 スポーツ振興に係る各種事業の実施 2 スポーツ行政等への協力業務 3 利用許可、取消し等に関する業務並びに利用料金の徴収、減免及び返還に関する業務 4 施設及び設備の維持管理に関する業務
自主事業：自動販売機設置。スイミングウェア等の販売。

7. 利用実績等

（1）利用者数

（単位：人，件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和5年度	6,703	6,387	7,531	10,559	10,632	8,050	5,615	6,138	5,497	5,435	6,166	6,552	85,265
令和6年度	6,401	6,943	8,144	10,273	9,754	7,341	5,981	6,565	5,718	5,653	6,008	6,513	85,294
主な増減要因	令和5年度と比較すると、一般利用者は前年から951名減少したものの、教室等の利用者が年間で980名増加した為、総計では前年から29名増となりました。 一般利用者においては7～9月の夏休みを含んだ期間中に幼児から中学生の利用者が前年から1,421名と大きく減少いたしました。令和5年11月以降幼児プールが故障により使用が出来ないことや、長期休暇を利用した旅行等が要因として考えられます。												

※上段に前年度実績を記載し，下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用者数を記載し，自主事業による人数・件数は記載しないこと。

（2）利用料金収入

（単位：千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
令和5年度	870	932	986	2,484	2,533	1,271	718	721	559	683	744	1335	13,836
令和6年度	774	1033	1,368	2,241	2,318	1,133	722	677	547	756	741	831	13,141
主な増減要因	令和6年度は3月単月で前年から504千円減収しております。要因としては令和5年度3月は4月から利用料を値上げが決まっており、値上げ前の回数券駆け込み購入が多くあった為、令和6年度は減収となりました。 4月から利用料の値上げがございましたが、7～9月は一般利用者減少に比例して売上も減収となった為、年度総計では前年から695千円のマイナスとなりました。												

※上段に前年度実績を記載し，下段に当該年度実績を記載すること。

※指定事業に係る利用料金を記載し，自主事業による収入は記載しないこと。

(3) サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み

施設機械設備の点検体制強化

利用者の安全と快適な利用環境を確保するため、機械設備に関する定期点検・整備を従来以上に強化いたしました。これにより、故障や不具合の未然防止に努め、利用者が安心してご利用いただけるよう配慮しております。

特定記念日における無料開放の実施

子どもの日、敬老の日、スポーツの日など、国民の祝日や記念日にあわせて、プールの無料開放を実施いたしました。幅広い年齢層の市民に対し気軽に施設を体験していただくことで利用促進と地域への周知を図っております。

(4) 施設利用者の主な声やその対応状況

「プールサイドが滑りやすい」とのご意見への対応

一部利用者より、プールサイドが滑りやすく転倒の危険があるのご指摘をいただきました。これを受け、特に滑りやすい箇所を中心に、滑り止め用マットを増設する対策を講じ、安全性の向上を図りました。今後も定期的な確認を行い必要に応じて適切な措置を講じてまいります。

備品の破損等に関するご指摘への迅速な対応

浮き具やシャワー設備など、一部備品の破損に関するご意見を受け、職員による日常点検を強化し、破損が確認された備品については即時対応を実施しております。利用者に不便をかけることのないよう、修繕・交換体制を整備し、速やかな対応を行っております。

(5) 施設の管理運営における課題

大崎市市民プールは、地域住民の健康づくりや交流の場として長年親しまれてきた一方で、近年では施設の老朽化が進行しており、管理運営上の大きな課題となっています。

現在ろ過ポンプの性能低下や配管からの水漏れ、ボイラーの真空漏れなど機械設備に関する複数の不具合が確認されており、応急的な修繕を行いながら施設の維持に努めている状況です。これらの不具合は、施設の基本機能に直結するものであり、安全かつ安定した運営を継続するためには、抜本的な対応が求められています。次年度には施設全体を対象とした大規模改修を予定されており、この改修により老朽化が著しい設備の更新をはじめ、安全性・機能性の向上を図り、今後も市民の皆様が安心してご利用いただける施設環境の整備を目指してまいります。

8. 管理運営状況

評価項目	評価基準	自己 評価	所管 評価
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 人員配置	管理運営に必要な人員及び有資格者を配置している。	○	○
(2) 職員研修	業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
(3) 管理記録	各種の管理記録（業務日誌等）を適切に整備，保管している。	○	○
(4) 安全管理	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
(5) 清掃・維持管理	施設，設備等の保守点検や維持管理等を適切に行っている。	○	○
(6) 施設等の修繕	施設や備品等の修繕を適切に行っている。	○	◎
評価項目	評価基準	自己 評価	所管 評価
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	事業計画書等に基づく利用者数や施設の稼働率がある。（地震の影響を考慮）	○	○
(2) 利用料金	利用料金の設定，徴収，減免，還付等の手続きを適切に行っている。	○	○
(3) 利用者満足度	利用者ニーズの把握に向けた取り組みを行っている。	○	○
3 事業の実施			
(1) 指定事業	仕様書，事業計画書に基づく事業を実施している。	○	○
(2) 自主事業	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
4 個人情報の取扱い			
(1) 個人情報の保護	協定書等に基づき適切に個人情報を取り扱っている。	○	○
5 管理運営業務の収支等			
(1) 収支状況	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
(2) 効率的な運営	経費の節減や利用料金収入の向上に向けた取り組みを行っている。	○	◎
(3) 経理事務	専用口座，所帳簿等を備え，適切な経理事務を行っている。	○	○

【評価の考え方】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり，一部の業務に改善が必要である。
×	(改善要)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が行われなかったため改善を要する。

※該当しない項目については，「－」を記入してください。

9. 施設所管課の総合評価

利用者数増加のための取り組みとして、記念日に合わせた施設の無料開放やパーソナルトレーニングの実施など、その他にも日頃からスポーツにふれあう機会を積極的に提供し、リピーターの確保に努めている。

また、高齢者から子供まで幅広い年齢層やニーズに応じた各種教室を開催しており、施設利用者の拡大を継続的かつ安定的に行われてきている。

運営面では、一般利用者の利用が減ったものの、教室の利用者が増加したため、魅力ある教室の開催を行うことにより会員数を増やすことができたといえる。利用料金については、料金改定により駆け込み需要が高まったため、結果的に減収となってしまったが、徐々に前年並みとなった。

維持管理面では、プールサイドが滑りやすい、備品の破損等、利用者の声を聞き、迅速に対応している。

大規模改修工事を控え、老朽化した設備の不具合が多発しているが、応急的な修繕により施設の維持に努められている。引き続き創意工夫した管理や事業運営に努められ、年齢層問わず多くの方が施設を利用し、市民の健康増進と地域コミュニティの場として貴重な施設であり続けることを期待する。